

Yahaba Town Guide Book

矢巾町 町勢要覧



煙山ひまわりパーク





ごあいさつ

本町は、昭和 30 年に徳田村、煙山村、不動村の 3 村が合併して矢巾村が誕生し、今年で 70 周年という大きな節目を迎えました。その歩みの中で、昭和 41 年 5 月には町制を施行し、今日まで先人たちが築き上げてきた歴史と文化を大切にしながら、新たな発展の道を歩んでおります。

この町勢要覧は、町の様々な分野における活動を客観的な資料として取り纏めたものであり、町勢の現状と変遷を正確にご理解いただくための重要な資料です。私たちは、「ここに生まれて良かった」「この地域で育まれて良かった」と誰もが感じられるまちづくりを目指しております。町民一人ひとりの熱意と地域への想いに寄り添い、様々な活動を後押しすることにより、コミュニティの活性化を図ってまいります。

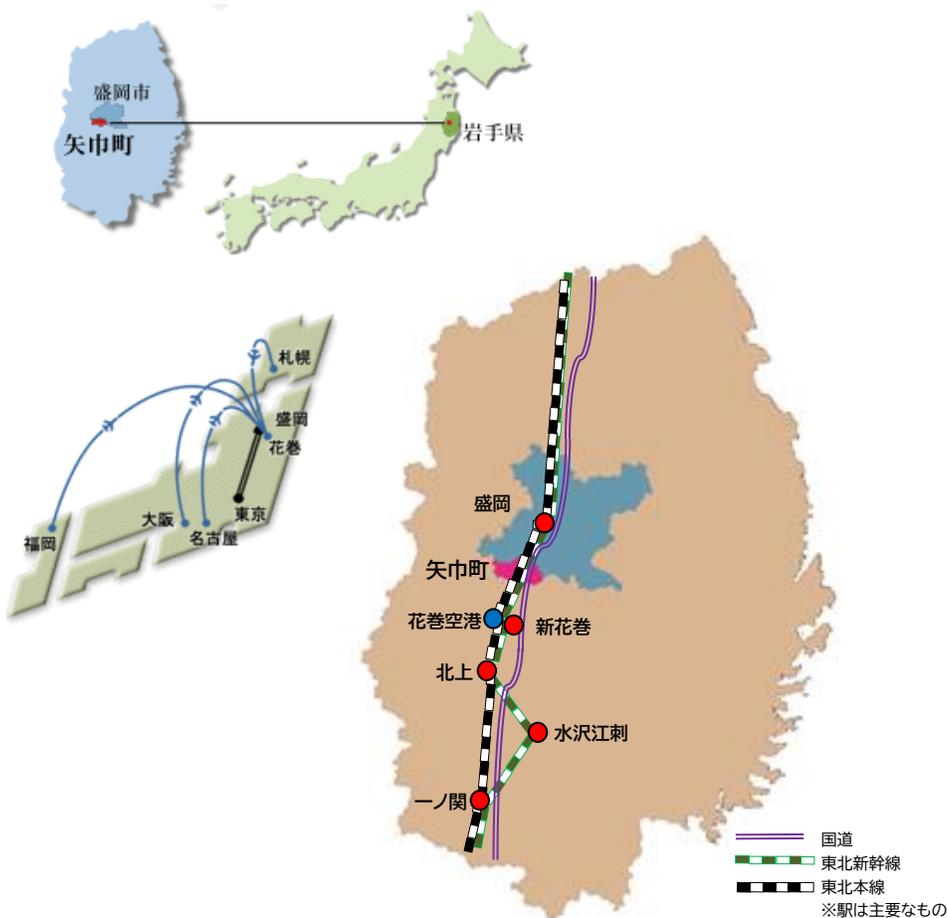
結びに、この町勢要覧が、皆さまにとって矢巾町の取り組みをご理解いただく一助になれば幸いです。

矢巾町長 高橋 昌造

矢巾町のプロフィール

面積:67.32 km²
 総人口:26,138 人
 世帯数:11,349 世帯
 (令和 7 年 8 月 1 日現在)

岩手県矢巾町は、県内のほぼ中央に位置し、県庁所在地である盛岡市の南に隣接する田園都市です。東に母なる北上川が流れ、西に町のシンボルである南昌山をはじめとする奥羽山脈の山並みが連なり、田園地帯が広がる自然豊かな環境に加え、東北本線や東北新幹線そして東北縦貫自動車道や国道4号など交通においても恵まれた町です。



交通アクセス

高速道路	
盛岡IC-矢巾SIC	7分
仙台宮城IC-矢巾SIC	1時間55分
浦和IC-矢巾SIC	5時間25分
矢巾SIC-矢巾町役場	6分
飛行機	
札幌(新千歳)-花巻	55分
名古屋(小牧)-花巻	1時間10分
大阪(伊丹)-花巻	1時間20分
神戸-花巻	1時間30分
福岡-花巻	1時間55分
花巻-矢巾町役場	40分(車)
東北新幹線・東北本線	
東京駅-盛岡駅	2時間10分
仙台駅-盛岡駅	40分
盛岡駅-矢幅駅	12分
矢幅駅-矢巾町役場	5分(車)



徳丹城跡公園

目次

町長あいさつ、位置・プロフィール	2
矢巾の四季	4
矢巾町の農産物・特産品	8
第8次矢巾町総合計画	10
まちの取り組み	11
矢巾町の主な施設	14
矢巾町のあゆみ	16
行政・議会	19
町民憲章、町章、町の花鳥木	21

矢巾の四季〈春〉



チャグチャグ馬コパレード

徳丹城春まつり(4月)

徳丹城跡公園に広がる桜並木を眺めながらステージイベントや飲食ブースを楽しめます。

チャグチャグ馬コパレードも同時開催され、鈴の音を響かせながら会場内を行進します。



餅まき



園児による伝統芸能の披露



南昌山山開き(5月)

矢巾町のシンボル南昌山では、一年間の安全を祈願し、山開きが開催されます。登山道は整備され、新緑を感じながら気持ちよく登ることができます。

標高 848m の山頂には町内を一望できる展望台も。

矢巾の四季〈夏〉



ひまわり

矢巾の名物となったひまわりは、毎年8月頃、煙山ひまわりパーク・和味フラワーパークで花を咲かせます。

中でも煙山ひまわりパークでは、南昌山をバックに約20万本のひまわりが咲き、壮大な景色が広がります。

インスタ映えするフォトスポットも人気です。

矢巾町の花鳥木である「ゆり」。

以前は町内のいたるところに自生していたゆりですが、現在は数が減少しているため保全活動を行っています。7月中旬に森山パストラルパークや城内山で大輪の花を咲かせています。



矢巾町夏まつり(7月下旬)

町内の小中高校、社会人などの音楽団体が出演するステージイベントで盛んに盛り上がります。飛び入り参加可能な「さんさ輪踊り大会」も見どころです。



矢巾の四季〈秋〉



南昌トンネル付近の紅葉



稲刈り風景

10月頃、自然豊かな町内には、秋らしい風景が広がります。



矢巾町秋まつり(10月)

矢巾町役場駐車場などを会場に秋まつりが開催され多くの方が秋を楽しみます。ステージでは、町内団体による歌やダンスの披露、飲食ブースや農産物の販売も人気です。

また、1歳前後の赤ちゃんの健やかな成長を願って一升餅歩行大会も開催され、会場はやさしい笑顔に包まれます。



矢巾の四季〈冬〉



スミつけ祭り(2月第1土曜日)

四百数十年前から受け継がれている奇祭。境内に積み上げられた杉枝の大山の中に観音様を掘り込んだ木柱を入れて燃やし、消し炭をお互いの手や顔へとこすりあう。別名 歳禱焚き(せあとたき)と呼ばれ、スミをつけられた人は災難消除や無病息災が叶うと言われています。



矢巾町消防団出初め式(1月)

消防団員及び矢巾分署所属の消防隊員約 200 人が参加し、行進の披露や1年間の決意表明を行います。



矢巾町交通指導隊初点検(1月)



農産品

りんご

りんごの生産地として、主にフジやジョナゴールドなどが栽培されています。矢中の太陽の光をたくさん浴びて育ったジューシーで甘いりんごです。ふるさと納税の返礼品としても人気です。



お米

町内では、銀河のしずくやひとめぼれ、ヒメノモチなどが栽培されています。古くから良質米の産地として名を馳せてきた当町のお米をお召し上がりください。



ズッキーニ

夏が旬のズッキーニは、さまざまな料理の食材として重宝されています。抗酸化作用のあるカロテンやビタミンC、高血圧予防にも効果があると期待されるカリウムも豊富です。



しいたけ

矢中町のしいたけは、原木・菌床ともに生産が盛んです。肉厚でうまみがたっぷりのしいたけは食べ応え抜群。矢中町国民保養センターでは、しいたけを使用したソフトクリームが味わえます。



山ぶどう

ポリフェノール等が含まれる山ぶどうは疲労回復、貧血予防などに効果があると言われています。



地酒



純米吟醸 徳丹城

町産「徳田米」は質の良い米として有名。その地で育った酒米「ぎんおとめ」を使用した純米吟醸酒です。料理を引き立てる上品ですっきりとした味わいに仕上がっています。



純米大吟醸 南昌山

町産酒米「ぎんおとめ」を使用した純米吟醸酒です。口当たりが柔らかく、甘さが特徴の日本酒です。冷やして飲むのがおすすめ。ラベルのデザインは「銀河鉄道 999」の作者である漫画家松本零士氏によるもので南昌山と町のシンボルであるひまわりを描いています。

澤田屋のおつけもの

職人がひとつひとつ昔ながらの製法にこだわって丹精を込めて漬け込んだ味わいの深い極上の逸品。



山ぶどう加工品

南昌山の麓で丹精込めて育てた野生種の山ぶどうを丸ごと使用。原液は濃厚で甘酸っぱい味わい。ストレートで飲むほか、薄めて砂糖やはちみつ、牛乳を加えても美味しいです。ジャムとジュースの商品を製造販売しています。



やはばおでん

やはばおでんは、こだわりの国産素材を使用し、保存料を使用しておりません。また、天然だしを使用し、かつおと昆布の風味が効いた優しい味わいです。イチ押しのは材は油揚げに豚・鶏ひき肉・生姜を詰め入れ、矢巾町の特産品の原木椎茸を丸ごと使用した『やはばくだん』。レトルトパックはお土産にもおすすめ。ご家庭でやはばおでんを楽しめます。



3ちゃん矢次工場の味噌

家族や地域の人たちに、安心でおいしい味噌を食べていただきたいという気持ちで、原料となる大豆の栽から製造・販売までを手掛けています。



第8次矢巾町総合計画(令和6年～令和13年度)

I.基本理念

『みんなで築く 躍動感あふれ幸せな未来へ進化するまち やはば』

II.町の目指す将来像

① 新たな活力と変革を実感できるまち

本町での未来に希望を抱く人々が集い、常に新しい風が生まれ続けることで、隅々まで活気にあふれるまちを目指します。

② 「ありがとう」が行き交う幸せなまち

一人ひとりの町民が幸せを実感するとともに、地域の中で人々のやさしさや感謝の気持ちが循環し、本町に暮らす喜びを全ての世代が感じられるまちを目指します。

③ 豊かな環境を未来へつなぐまち

先人が力を合わせて築き上げ、現在まで受け継がれてきた本町の豊かな自然環境や、文化的環境の価値を大切に守り育て、将来世代に胸を張って継承することができるまちを目指します。

III.施策の柱

① 元気を発信し活力を呼び込むまちづくり

本町の魅力や情報を積極的に発信し、新たな町民や熱意ある事業者を広く受け入れその活躍を促進することによって、町内全域の活性化や、活気が新たな活力を呼ぶ機運の醸成を目指します。

② 誰一人取り残さない社会を目指すまちづくり

一人ひとりの幸福感の向上を図るとともに、身近な地域で町民同士が互いにつながり支え合いながら、全ての世代が生き生きと安心して暮らせる社会の実現を目指します。

③ 豊かな環境を守り伝えるまちづくり

南昌山をはじめとする西部の山々や町内に広がる田園風景などの豊かな自然環境と、地域の伝統行事、郷土芸能などが育まれてきた文化的環境を次世代を担う子どもたちや将来の世代に伝えるため、その保全と価値の向上を目指します。

④ まちの発展を支える持続可能な行財政運営

各施策を推進し町勢の着実な発展を図るため、将来にわたり安定した行財政運営を可能とする仕組みの確立を目指します。

町の取り組み① 町の特徴

スポーツのまち

平成 31 年に「スポーツのまち」を宣言。誰もがスポーツに親しみ、元気あふれる健康なまち目指します。



矢巾町ロードレース大会(10月上旬)

町内外から招待選手を含む多くの選手が参加します。小さいお子様からご年配の方まで幅広い参加者が田園ロードを駆け抜けます。



矢巾町長杯中学校ハンドボール大会(11月中旬)

町内で小学校から社会人まで盛んに行われているハンドボール。全国大会常連校である矢巾中学校、矢巾北中学校がこの大会で、県外の強豪校としてのぎを削ります。

音楽のまち

平成 28 年に「音楽のまち」を宣言。まちを歩けばどこからともなく音楽が聞こえてくる明るく 楽しい、こころ豊かなまちづくりを目指します。



南昌みらい高校音楽部による合唱



演歌歌手の大江裕氏、レゲエアーティストのゼンダマン氏が令和6年から矢巾町応援アンバサダーに就任。

子ども・子育てにやさしいまち

令和 6 年度からこども家庭課が設置され、すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、様々な子育て支援を実施しております。

認知症の人にやさしいまち

令和 4 年度に「認知症の人にやさしいまちづくりやば」を宣言。認知症の人でもそうでない人も、よりよく生きていくことができるよう、お互いを理解し、一人ひとりが自分らしく暮らしていけるまちを目指しています。

町の取り組み② まちづくり

施策の柱の1つ「誰一人取り残さない社会を目指すまちづくり」では、コミュニティの再構築を掲げ、令和7年度からは「まちづくり推進室」が発足しました。まちづくり取り組みの一環として小学校区ごとに地域の皆さまの話し合いにより地域を考える活動などを実施しています。

地域カルテ



地域住民が話し合い、地域の魅力や課題をまとめた資料です。地域にある公共施設や医療機関、商業施設、郷土芸能や観光地など、様々な情報が網羅されております。

また、地域が抱えている課題を整理し、今後どのような地域を目指したいか、地域のみなさんの思いをスローガンにまとめています。地域カルテは小学校区ごとに作成し、今後の広域的な地域づくりに活用します。

地域みらいづくり会議

地域住民が集まり、地域の未来について情報交換や意見交換を行うことで、地域の未来をみんなでつくる話し合いの場です。広域的な地域課題などを今後どのように改善し、目指す地域像に向かうために広域連携と地域コミュニティ組織単独でそれぞれどのような取り組みを行っていくかを定める「地域みらいづくり計画」の策定を目指します。今後、この計画に基づいた取り組みを進めるために、さらに話し合いを重ね、広域連携の仕組みを深めていきます。



コミュニティ懇談会



住民の皆様との対話を重んじ、双方向のコミュニケーションを展開することを目的として、町長や職員が町内の各地域コミュニティを訪問し、議論を交わします。普段は住民の皆様のご意見を地域コミュニティ組織が取りまとめ、役場に伝達していますが、直接対話を行うことで、地域の実情を町が把握するための重要な機会です。

町の取り組み③ 町の情報発信

施策の柱の一つ「元気を発信し活力を呼び込むまちづくり」の実現に向け、町では様々な広報媒体を使用して情報発信を行っています。

広報やはば

まちのできごとやお知らせについて、毎月1日に発行し、全戸配布しています。PDF版はHPでもご覧になれます。



暮らしのガイドブック

町民が生活する上で必要なことがらを広くまとめてます。

子育てガイドブック

子どもに関する保健・福祉・医療などの各種制度や子育て情報をまとめてます。

暮らしのガイドブック 子育てガイドブック



ホームページ

まちに関するあらゆる情報を発信。



やはラヂ！

ラヂオ・もりおかの周波数 (FM76.9MHz) を利用し、月曜日から金曜日の 午後6時30分から午後7時まで、再放送は翌日の午前6時30分から午前7時まで、番組を放送。お悔み情報は、土日も放送しています。



住民ポータルアプリ

やはナビ！

町の公式アプリです。ごみカレンダーや施設予約など、様々なコンテンツにアクセスできます。



LINE

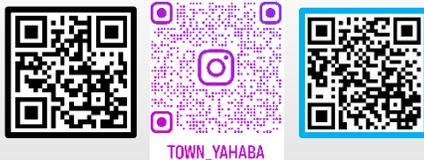
町の公式LINEでは、イベント情報や各種行政情報を随時発信しています。



SNS

(X・Instagram・Facebook) イベント情報や気になる画像を随時発信しています。

X Instagram Facebook



YouTube

様々な動画コンテンツを発信しています。



わたまるメール

町からのお知らせや防災情報などを一斉メールで発信しています。



施設マップ





矢巾町役場



さわやかハウス
(保健福祉交流センター)



矢巾町民総合体育館



田園ホール
(矢巾町文化会館)



矢巾町歴史民俗資料館
(曲家)



0 500 1000m



徳丹城跡公園

矢巾町のあゆみ

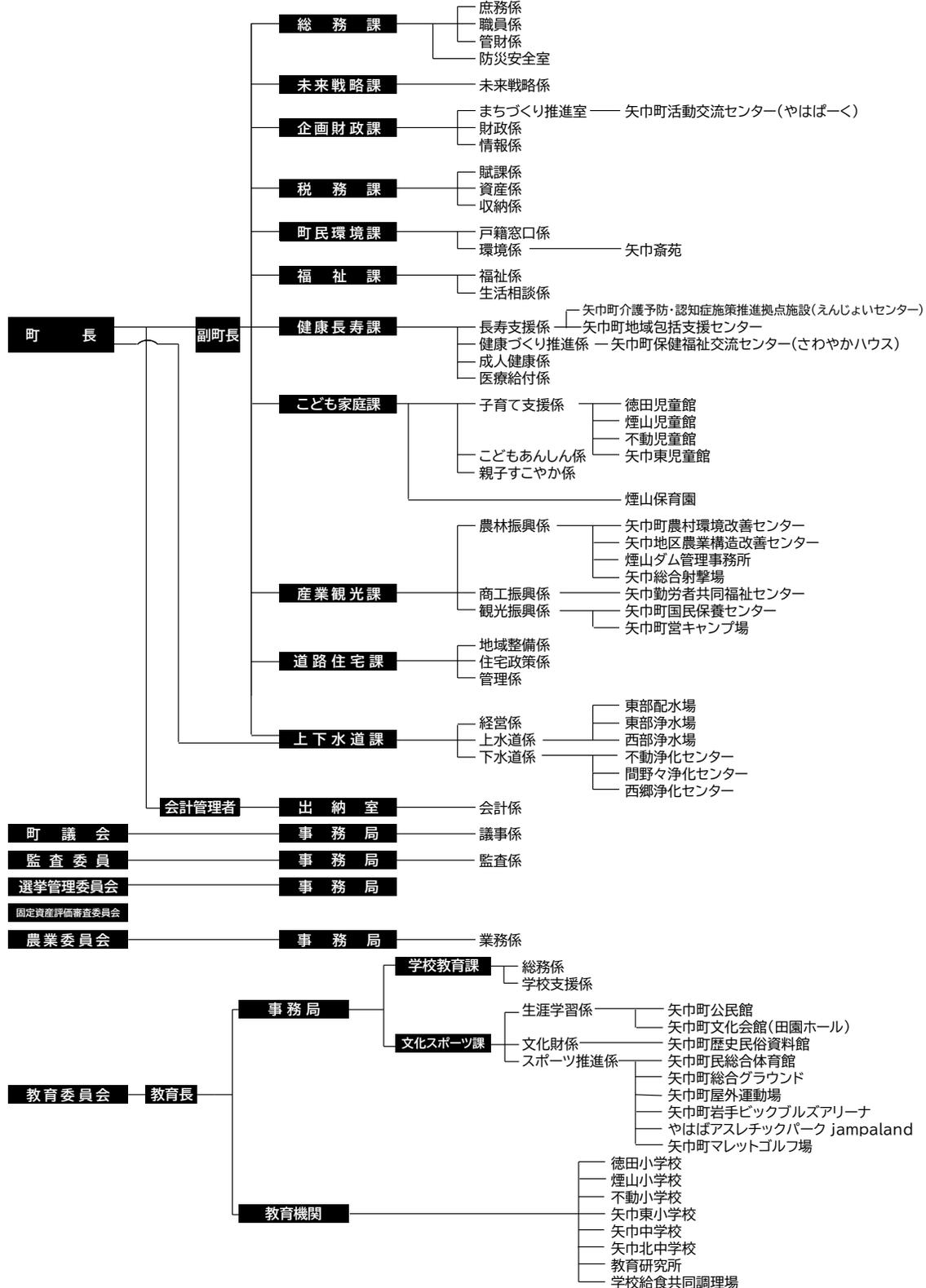
- 明治 22 年 徳田村、煙山村、不動村誕生
- 明治 23 年 東北本線「盛岡～一関」間開通
- 明治 31 年 矢幅駅開設
- 明治 38 年 東北地方大凶作
- 明治 43 年 大洪水で北上川はらんらん
- 昭和 2 年 大干害(不動村の水稲 50%減収)
- 昭和 22 年 カスリン台風襲来。北上川堤防が決壊し大洪水
- 昭和 23 年 アイオン台風襲来
- 昭和 29 年 三ヶ村合併促進協議会結成
- 昭和 30 年 3 月 1 日 徳田・煙山・不動の三ヶ村の合体合併により「矢巾村」が誕生
人 口:13,832 人、世帯数:2,267 世帯
- 9 月 17 日 役場庁舎落成
- 昭和 31 年 10 月 1 日 徳田保育園開設
- 昭和 32 年 2 月 21 日 矢巾村消防団日本消防協会表彰受賞
- 5 月 4 日 全村に農事放送施設、有線放送完成
- 9 月 15 日 村章、村民歌、矢巾音頭決まる
- 11 月 27 日 矢巾村消防団自治庁長官表彰受賞
- 昭和 35 年 4 月 10 日 煙山保育園開設
- 8 月 22 日 矢巾村商工会発足
- 11 月 23 日 火葬場落成式
- 11 月 28 日 徳田橋完成
- 昭和 39 年 9 月 24 日 東京オリンピック聖火、本村を通過
- 昭和 40 年 10 月 1 日 東北本線「仙台～盛岡」間の複数電化完成
- 昭和 41 年 4 月 1 日 矢巾村営上水道給水開始(国道沿線と矢幅駅周辺)
- 5 月 1 日 町制施行「矢巾町」となる
- 7 月 16 日 町公民館落成
- 10 月 14 日 矢巾町観光協会設立
- 昭和 43 年 4 月 1 日 町立母子健康センター完成
- 9 月 26 日 矢巾観光開発(株)が矢巾温泉開発に成功
- 9 月 煙山ダム完成
- 昭和 44 年 5 月 19 日 郡内 2 町 1 村環境施設組合設立ごみ処理場火入れ式
- 8 月 5 日 徳丹城跡国指定史跡となる
- 10 月 25 日 国民保養センター完成
- 昭和 45 年 9 月 7 日 煙山ダムで国体夏期大会カヌー競技開催
- 昭和 46 年 1 月 矢巾町総合開発計画策定
- 3 月 15 日 矢巾町都南村都市計画事業等組合設立
- 5 月 24 日 岩手流通センター起工式
- 8 月 1 日 広域消防体制スタート
- 11 月 20 日 町商工会館落成
- 昭和 48 年 4 月 11 日 盛岡消防署矢巾分署落成

- 昭和 49 年 6 月 4 日 東北新幹線工事着工
- 昭和 51 年 5 月 6 日 クレー射撃場落成
- 5 月 13 日 紫波郡環境施設組合不燃処理施設落成
- 10 月 25 日 矢巾町民憲章を制定。町のシンボル花「ゆり」鳥「かつこう」木「まつ」
- 昭和 52 年 3 月 15 日 矢幅駅改築落成
- 11 月 19 日 高速道「一関～盛岡」間開通
- 昭和 53 年 4 月 25 日 南昌グリーンハイツ落成
- 11 月 5 日 町民総合体育館落成
- 昭和 54 年 3 月 29 日 紫波郡環境施設組合高速堆肥化処理施設落成
- 昭和 55 年 2 月 12 日 矢巾町消防団日本消防協会特別表彰受賞
- 昭和 56 年 5 月 31 日 岩手県交通矢巾営業所業務開始
- 10 月 19 日 岩手県森林組合盛岡木材流通センター完成
- 昭和 57 年 4 月 1 日 農業集落排水(室岡)供用開始
- 6 月 23 日 東北新幹線開業
- 昭和 58 年 9 月 13 日 紫波地方広域農道開通式
- 9 月 22 日 町歴史民俗資料館落成式
- 昭和 60 年 3 月 24 日 新庁舎開庁式及び一般公開
- 4 月 1 日 北上川上流流域下水道(都南処理区)一部供用開始
- 昭和 61 年 5 月 30 日 矢巾斎苑完成
- 昭和 62 年 2 月 10 日 煙山児童館完成
- 8 月 2 日 矢巾町農村環境改善センター完成
- 昭和 63 年 1 月 15 日 町屋内ゲートボール場完成
- 3 月 23 日 徳田児童館完成
- 4 月 1 日 新町公民館開館
- 4 月 10 日 県立不來方高等学校開校
- 5 月 2 日 徳田、煙山、不動の三農協が合併により矢巾町農業協同組合発足
- 8 月 5 日 矢巾中学校グラウンドに夜間照明施設完成
- 12 月 3 日 ふるさと矢巾会設立(関東方面在住者の会)
- 平成 2 年 7 月 1 日 マレットゴルフ場完成
- 11 月 3 日 町公民館落成・町文化会館(田園ホール)落成
- 平成 3 年 1 月 14 日 町デイサービスセンター完成
- 7 月 17 日 矢巾地区農業構造改善センター完成
- 11 月 7 日 北上川架橋長徳橋完成
- 平成 4 年 3 月 31 日 不動児童館完成
- 10 月 27 日 奥羽南部区域農業用道路(南昌トンネル)開通
- 12 月 25 日 矢幅駅東地区土地区画整理事業起工式

●平成 5 年	3 月 4 月 1 日 5 月 18 日 12 月 24 日	下田工業団地完成 岩手県林業技術センター落成 盛岡・紫波地区環境施設組合リサイクルコンポストセンター完成 町シルバー人材センター設立	●平成 17 年	4 月 1 日 4 月 1 日 6 月 11 月 9 日	北川保育園を民間法人に譲渡 歴史民俗資料館ホームページ開設 町内小中学校ホームページ開設 矢巾町合併 50 周年記念式典
●平成 6 年	6 月 9 日	温泉入浴施設「パストラルバーデン」オープン	●平成 18 年	2 月 2 日 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 30 日 7 月 11 月 1 日	矢幅駅西地区土地区画整理事業起工式 不動保育園を民間法人に譲渡 矢巾町地域包括支援センター開設 岩手やはば 21 赤べこ野球軍団誕生 徳丹城跡から史上初の「木製かぶと」出土 水本圭治さんに町民栄誉賞第 1 号を贈呈、全国高校総合体育大会及び国民体育大会カヌー競技で 5 冠達成
●平成 7 年	6 月 30 日 7 月 22 日 8 月 15 日 11 月 17 日	町保健福祉交流センター(さわやかハウス)落成 アメリカ・フリモント町と友好都市締結 非核平和の町宣言を制定 矢巾町福祉のまち宣言を制定	●平成 19 年	4 月 1 日 4 月 1 日 8 月 27 日 9 月 17 日 10 月 3 日 11 月 23 日	徳田保育園を民間法人に譲渡 学校法人岩手医科大学矢巾キャンパス完成、薬学部開設 岩手やはば 21 赤べこ野球軍団第 78 回都市対抗野球全国大会出場 平成 19 年秋雨前線による大雨被害 観測史上 1 位の降水量を記録 水本圭治選手、国民体育大会カヌー競技で 2 冠達成 矢巾の地酒 徳丹城「別将」誕生
●平成 8 年	4 月 1 日	町立矢巾北中学校開校	●平成 20 年	3 月 15 日 3 月 19 日 11 月 8 日 12 月 31 日	新矢幅駅、東西自由通路完成開業(矢幅駅開業 110 周年) 矢巾町消防団、528 日無火災継続中で県表彰を受賞 矢巾中学校創立 50 周年記念式典開催 不来方高校サッカー部全国選手権大会初出場
●平成 9 年	1 月 26 日 4 月 1 日 4 月 15 日	新矢巾町商工会館落成 盛岡・紫波地区環境施設組合一般廃棄物最終処分場供用開始 県立産業技術短期大学校開校	●平成 21 年	3 月 21 日	総合型地域スポーツクラブ「楽々クラブ矢巾」設立
●平成 10 年	8 月 26 日	町防災コミュニティセンター落成	●平成 22 年	3 月 16 日 8 月 9 日 12 月 26 日	横澤高德選手バンクーバー冬季パラリンピック、アルペン男子大回転シッティング出場 矢巾町コミュニティ条例制定 30 周年記念式典開催 田園ホール開館 20 周年記念第九コンサート開催
●平成 11 年	3 月 1 日 3 月 25 日 9 月 1 日 10 月 7 日 11 月 15 日	矢巾町、岩手紫波町、都南農協合併により岩手中央農業協同組合発足 西部工業団地完成 町ホームページ開設 人口 25,000 人達成 町道中央 1 号線完成	●平成 23 年	3 月 8 日 3 月 11 日	岩手医大総合移転整備計画第 2 次事業新設工事落成 東日本大震災発生 矢巾町では震度 6 弱を観測
●平成 12 年	5 月 30 日 6 月 1 日 8 月 1 日	水道料金及び下水道使用料コンビニエンスストア収納事務委託調印 町内循環バス「さわやか号」本格運行開始 県営土地改良整備事業東部徳田地区完工	●平成 24 年	1 月 13 日 3 月	町立矢巾中学校新校舎利用開始 岩手医科大学総合移転事業にかかるドクターヘリ基地ヘリポート完成、5 月から本格的運用開始
●平成 13 年	7 月 25 日 7 月 25 日 9 月 20 日 12 月 7 日	中国寧波市に親善大使として 11 人が訪問 重度心身障害児童施設「みちのく療育園」が開園 携帯電話を活用した緊急防災メールシステム始動 ISO14001 認証取得	●平成 25 年	3 月 30 日 8 月 9 日	不来方高校男子ハンドボール部が全国高校ハンドボール選抜大会で優勝 大雨・洪水被害により矢幅駅周辺で床上・床下浸水など大きな被害
●平成 14 年	4 月 1 日 4 月 3 日 4 月 10 日 7 月 20 日 8 月 1 日 9 月 1 日	児童保育園施設「やはば保育園」開園 高齢者活動センター「やまゆりハウス」がオープン 老人保健施設「シェーンハイムやはば」がオープン 「ふるさと矢巾会」創立 15 周年記念総会が矢巾町で開催される 住民基本台帳ネットワークシステムがスタート 図書室の蔵書検索システムが稼働	●平成 26 年	12 月 1 日	平成 25 年の大雨・洪水被害により休業していた国民保養センターが営業再開
●平成 15 年	7 月 10 日 10 月 16 日 12 月 22 日	特別養護老人ホーム志和荘が落成 広宮沢第二土地区画整理事業の用地造成工事起工式 矢巾町健康長寿のまち宣言を制定	●平成 27 年	1 月 5 日 8 月 24 日 11 月 13 日	町立煙山保育園新園舎利用開始 矢巾中学校男子ハンドボール部全国大会準優勝 矢巾町合併 60 周年記念式典開催
●平成 16 年	3 月 23 日 4 月 8 日 4 月 12 日 6 月 9 日 7 月 14 日 11 月 11 日	盛岡地域任意合併協議会が発足 町立矢巾東小学校開校、矢巾東児童館開館 学校給食共同調理場開所 パストラルバーデン 10 周年記念 不動浄化センター通水式 盛岡市・玉山村との合併法定協議会への不参加を決定			

●平成 28 年 2月21日	パラリンピアン横澤高德選手「希望郷いわて国体」でエキシビジョン滑走 矢巾町活動交流センター「やはぱーく」開所式	5月11日	認知症の方や家族の支援に取り組む「チームオレンジ矢巾」結成
4月1日	矢巾スマートIC工着工式	6月18日	東京 2020 オリンピック聖火リレー「矢巾区間」走行
5月28日	希望郷いわて国体デモンストレーション競技開催	7月9日	資源物回収施設「リサイクルモア矢巾店」オープン
10月2日	(ラジオ体操、スポーツチャンバラ)	8月6日	水本圭治選手、東京 2020 オリンピックカヌースプリント競技出場
10月10日	中前いつき選手、いわて国体カヌー競技で 2 冠達成	10月31日	矢巾北中学校特設合唱部、第 74 回全日本合唱コンクール全国大会出場金賞受賞
10月22日	工藤綾乃選手、希望郷いわて大会陸上スラロームの部で優勝	11月21日	町文化会館(田園ホール)にて「NHKのど自慢」を開催
11月6日	矢巾町音楽のまち宣言セレモニー	令和 4 年	
●平成 29 年		3月13日	高橋幸平選手、北京 2022 冬季パラリンピックアルペンスキー競技出場
3月19日	小原重雄さんに名誉町民の称号を授与	10月9日	祝咲臺公園に町マレットゴルフ場 オープン
3月21日	第 89 回春のセンバツ甲子園開会式で県立不来方高校音楽部竹内菜緒さん国歌独唱	10月30日	認知症の人にやさしいまちづくり やはば 宣言
3月24日	同大会で県立不来方高校野球部 21 世紀杯出場	11月5日	矢巾北中学校特設合唱部、第 75 回全日本合唱コンクール全国大会出場 同声の部 銀賞受賞
●平成 30 年		●令和 5 年	
3月1日	やはらチ！放送開始	12月27日	旭田好里選手 JFA 第 27 回全日本 U-15 女子サッカー選手権大会 優勝
3月14日	高橋幸平選手平昌パラリンピックアルペンスキー出場	2月1日	盛岡広域環境組合設置
3月24日	矢巾スマートインターチェンジ開通式	3月18日	矢幅駅東口に地域情報発信ステーション オープン
●平成 31 年		3月25日	矢巾北中学校特設合唱部、第 16 回声楽アンサンブルコンテスト全国大会出場中学校部門金賞受賞
1月19日	スポーツのまちやはば宣言	3月30日	矢巾中学校男子ハンドボール部全国中学校選手権準優勝
●令和元年		4月1日	認知症とともに生きる町づくり条例を制定
5月1日	天皇の譲位に伴い「平成」から「令和」に改元	4月29日	南部盛岡チャグチャグ馬コパレードが町内で初めて実施(徳丹城春まつりと併せて)
8月5日	徳丹城が国指定史跡となり 50 年を迎えた	5月7日	ワールドラン(Wing for Life World Run)矢巾会場初開催
8月25日	水本圭治選手、2020 年東京オリンピックカヌースプリントカヤックフォア 500m出場決定	5月28日	宮沢賢治をモチーフとした南昌山の新展望台を山開きでお披露目
9月21日	岩手医科大学新附属病院開院	7月22日	コロナ禍で中止が続いていた町夏まつりが 4 年ぶり通常開催
10月13日	煙山小学校、第 19 回東日本学校吹奏楽大会で初出場金賞受賞	11月28日	東北最大の物流拠点「プロロジスパーク盛岡」が広宮沢に完成
10月27日	矢巾北中学校特設合唱部、第 72 回全日本合唱コンクール全国大会出場銅賞受賞	12月1日	町住民総合ポータルアプリ「やはナビ！」の運用開始
12月15日	矢巾北中学校特設駅伝部、全国中学校体育大会第 27 回全国中学校駅伝大会出場	●令和 6 年	
●令和 2 年		2月5日	町ホームページをリニューアル
2月7日	2020 年東京オリンピック・パラリンピックの「復興『ありがとう』ホストタウン」として本町の登録が決定。相手国はオーストリア共和国。	3月23日	平成 23 年度より架替工事が進められていた徳田橋が開通
4月15日	町健康増進施設「ウエルベース矢巾」がオープン	5月21日	岩手日野自動車株式会社 本社・盛岡営業所・盛岡工場が完成
8月9日	矢巾町安全・安心の日制定	5月22日	演歌歌手 大江裕氏が矢巾町応援アンバサダーに就任
8月22日	矢巾スマートインターチェンジ利用台数 200 万台達成	7月8日	レゲエアーティスト ゼンダマン氏が矢巾町応援アンバサダーに就任
10月10日	町介護予防・認知症施策推進拠点施設「えんじょいセンター」オープン	9月14日	サザンタウンやはば again にて「The 住宅祭」を開催
10月18日	第 1 回矢巾町音楽祭開催	●令和 7 年	
●令和 3 年		2月1日	スミつけ祭りが町営キャンプ場に場所を移して初めての開催
1月8日	プロバスケットボールチーム岩手ビッグブルズの練習拠点として「矢巾町岩手ビッグブルズアリーナ(旧アイワ体育館)」オープン	4月1日	岩手県立南昌みらい高等学校が開校
3月21日	矢巾北中学校特設合唱部、第 14 回声楽アンサンブルコンテスト全国大会出場中学校部門金賞受賞	4月26日	矢巾町合併 70 周年記念式典開催
3月25日	村松玲子さん(不来方高校音楽部顧問)に町民栄誉賞を贈呈、多くの生徒とともに全国の舞台で優秀な成績を収め町の芸術文化振興に貢献	4月26日	故藤原清司様へ矢巾町名誉町民章授与
4月1日	岩手朝日テレビのデータ放送を活用した自治体情報サービスの配信開始		

行政

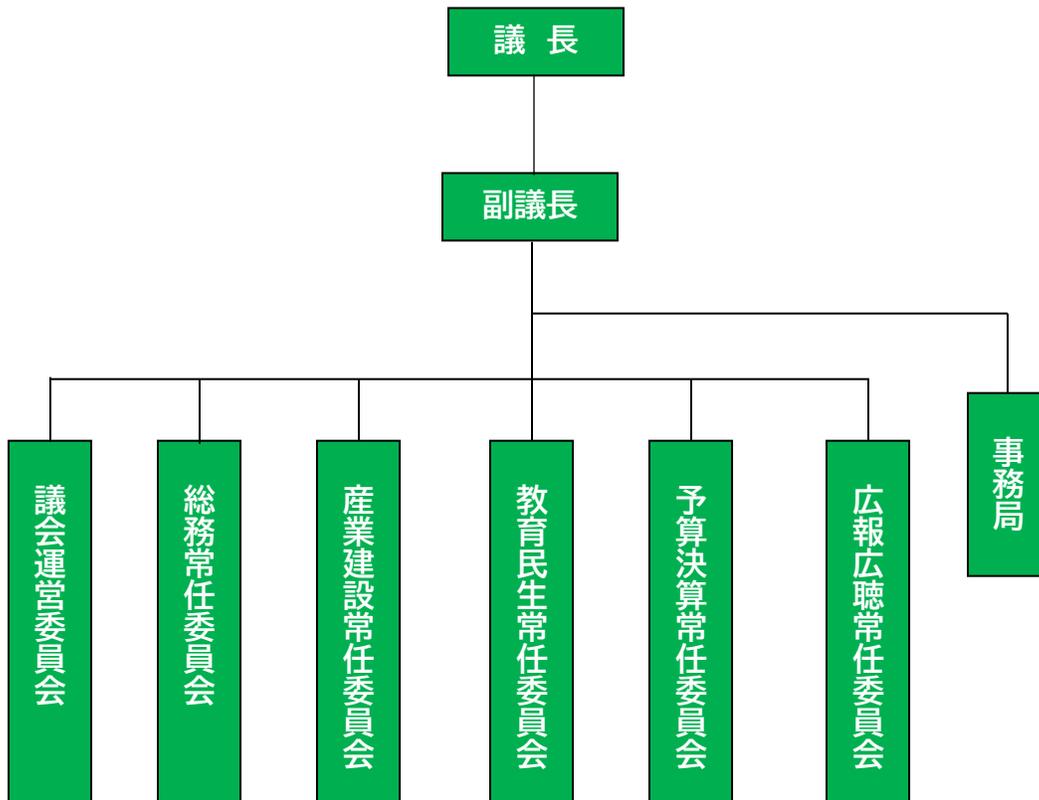


議会

議長 廣田 清美



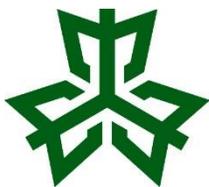
副議長 谷上 知子



町民憲章(昭和51年10月25日制定)

- わたくしたちの町
岩手の山なみをながめ南昌のふもと
北上の流れに憩う
美しい町
わたくしたちは今
この町の光と風と
父祖の足跡を受けつぎつづ
和といたわりと希望の町をめざし
この憲章を掲げます
この憲章のもと
老いも若きも 手をたずね
日を月を年を重ねて
たくましく生きぬくことを
誓います
- 一 みどり豊かな自然を愛し
 - 一 清らかな町づくりに努めます
 - 一 すすんで教養を身につけ
 - 一 郷土の芸術文化をたかめます
 - 一 体力をつよめ話し合いを大切にする
 - 一 明るい家庭をつくります
 - 一 公共心を育て
 - 一 思いやりとまじまりのある生活をします
 - 一 働くことに喜びをもち
- 希望にみちた町の開発にはげみます

町章(昭和32年9月15日制定)



昭和32年9月に制定されたもので、当時三ヶ村合併の意味をもたせ「矢」と「巾」とを同時に意味して「矢巾」とし、安定と遠心的な広がりを図案化したもので、本町の平和と躍進を象徴している。

町のシンボル(昭和51年10月25日制定)



花『ゆり』

南昌の里に、ひっそりと咲き、美しく、また可憐な花を開き柔和で、純潔な町民の心を表している。



鳥『かつこう』

さわやかな鳴き声を矢巾の山々にこだまさせ、明るい未来を知らせ、町民に明日への希望をもたせてくれる。



木『まつ』

年中緑を絶やさず、葉は強剛で奥羽山脈から吹きおろす風雪にも耐え四方に伸びる根と枝は、矢巾の躍進を示すがごとく雄大である。

矢巾町町民歌(昭和32年9月15日制定)

矢巾町町民歌

川村陽吉 作詞

藤沢康太郎 補作

鷹嘴洋一 作曲

一、見はるかす 沃野ひらけて
南昌の 山に雲湧く

美まし里 息吹きさやかに

あたらしき 理想は高く

力あわせて われら辿らん

二、岩手富士 はるかに仰ぎ

うたごえの 相和すところ

人睦み ともに励みて

うちたつる 徳と業とを

望みあかるく われら進まん

三、鹿妻堰 滔るる水に

ゆたかなる 恵みをうけて

黄金なす 穂波のそよぎ

なりわいの 一のよろこびを

誠つくして われら拓かん

矢巾町 町勢要覧

Yahaba Town Guide Book

◆発行 岩手県矢巾町

◆制作 企画財政課

平成28年 7月発行

(令和 7年 8月改訂)

〒028-3692

岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅第13地割123番地

TEL 019-697-2111(代表)

FAX 019-697-3700

矢巾町ホームページ <https://www.town.yahaba.iwate.jp/>

矢巾町のキャラクター



じゃじゃっとくん



わたまるくん